

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	家電量販店（店長）	・オリンピック需要で映像系が伸びてくる。
		商店街（代表者）	・年間を通してのイベントにより、交流人口の増加が見込まれる。ゴールデンウィーク前から、盛りだくさんのイベントもある。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	・新知事に代わり新年度、県内の公共事業の様子も変わってくる。
		コンビニ（経営者）	・気候も良くなり、人の出入りも激しくなって、売上は上昇する。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・これから先、暖かくなってくると、ビール関係が良く売れるので、景気は良くなってくる。
		観光型旅館（経営者）	・瀬戸大橋開通20周年記念ということで、大手旅行代理店のイベント、企画などがあり、4月以降は来客数が増えてくる。
		設計事務所（所長）	・1か月後に超大型の商業施設のオープンを控えており、少し良くなる。
変わらない		スーパー（企画担当）	・小麦・ビールなどの卸価格の上昇は、今後も続くが、量目調整など工夫をしているので直接的な影響は大きく出ない。
		衣料品専門店（経営者）	・3か月ぐらい前は、公務員の給料が低下したこともあり、消費マインドを心配したが、3月の数字をみると、意外に堅調さを保っている。
		衣料品専門店（経営者）	・円高などのため、購入時期の様子うかがいをしている。
		家電量販店（営業担当）	・売れる商品が変わる時期であり、多少の期待感はあるが、来客数が悪くなっているため、回復傾向までとは行かない。
		乗用車販売店（従業員）	・ガソリン代の動向に左右されるため、売上が良くならない。一時的にでも、ガソリン代が値下がりすると、話題にはなるが、景気対策にはならない。
		乗用車販売店（従業員）	・暫定税率の結論が出るまで様子を見ている客もいる。
		一般レストラン（経営者）	・景気の後退などと言われており、財布のひもが固い。
		都市型ホテル（経営者）	・現在の予約状況からすると、部門によっては悪いところもあるが、今とあまり変わらない状況で推移する。
		通信会社（管理担当）	・新端末、各種割引サービスの開始など、販売が増大する条件は出そろい、これ以上、景気が上向く要素が少ない。
		美容室（経営者）	・転勤、異動による新規客が伸びる。
		美容室（経営者）	・各種値上げも消費者には慣れてきた様子があるが、消費を抑える傾向は続く。
		住宅販売会社（従業員）	・住宅ローン減税も今年で終わるが、客に新築計画を急ぐ様子なく、計画自体を考えている客が減っている。
		やや悪くなる	
百貨店（営業担当）	・ファッション商品は春物の動きが悪く、当用買いに終始している。ブランド商品も購入単価の低下傾向が見られ、高額品も例年に無く低調である。		
百貨店（売場担当）	・セールを開催してもまとめ買いは少なく、必要でないものは買わない傾向が強まっている。物価の値上がりが懸念される中、消費増加にはならない。		
スーパー（店長）	・全体的な値上げ傾向が続いているので、このまま商品の単価が上昇すれば、景気は悪くなってくる。		
スーパー（財務担当）	・エネルギーや原材料のアップ、食品についても中国産冷凍ギョウザ問題から国内産が上昇傾向にあり、消費者にとってプラスになる要因がない。		
衣料品専門店（経営者）	・4月から身の回りの物価が上昇するが、特に衣料品は買い控えされやすい。		
衣料品専門店（経営者）	・生活必需品の値上がりが浸透してきており、衣料、ファッション関連の消費が後回しにされる危惧がある。		
一般レストラン（経営者）	・社会全体的に4月以降、更に値上げが予定されている。		
タクシー運転手	・4月に入り、値上がりすると、来客数が減ってくる。また、夏が近づいてくると、遍路の仕事も減ってくる。		
通信会社（支店長）	・好転する要素が見当たらない。		

	悪くなる	一般小売店〔乾物〕 (店員)	・仕入業者との商談は、ほとんど値上げの要請であるが、売値を上げることは難しい。ガソリンなどの諸経費も上昇しているため、利益の圧迫が懸念される。
		スーパー(店長)	・公共建設の減少、県内の昇給は悪い状況で、さらにガソリン税や世の中の混乱など、悪くなる傾向にある。
		乗用車販売店(従業員)	・決算期においても低迷し続けており、3か月後に良くなる理由がまったく見当たらない。
		乗用車販売店(管理担当)	・購買意欲は、冷えきっている。
		設計事務所(職員)	・行財政改革による地方財源の逼迫は、建設業界を直撃して久しく、この先、良くなる見込みがない。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	通信業(営業担当)	・担当している各社共に、新年度に向けて新たな施策、営業力強化策を検討しており、明るい話題が多くなった。
	変わらない	パルプ・紙・紙加工品 製造業(経営者)	・小売業者の抵抗が非常に強く、価格を上昇できず採算がとりにくい。商品のリニューアルや新しい商品化を導入する必要がある。
		電気機械器具製造業 (経営者)	・依然として、円高、原材料高が継続する。
		建設業(経営者)	・原油や建設資材の高騰により苦しい状況が続く。
		広告代理店(経営者)	・地元資本の得意先の販売不振、先行き不安が強く、新年度広告費削減の話が多い。
やや悪くなる	一般機械器具製造業 (経理担当)	・道路特定財源が廃止の方向ならば、ユーザーの建設汚泥関係の仕事量が減少する。改正建築基準法なども、今後の仕事減少に影響してくる。	
	一般機械器具製造業 (経理担当)	・トラックの登録台数の前年比減少の傾向が止まらないことから、小型クレーンの販売台数への影響は避けられない。レンタル業界でも地域格差が大きくなっており、総じて稼働率が落ちてくる。	
	輸送業(支店長)	・原油高で原材料の高騰・高止まりが続けば、転嫁できていない業種・中小の製造業は、経営環境が厳しく、先細りとなり中央との格差が更に開く。	
	通信業(支店長)	・最大の商戦期が過ぎて端境期に入り、また市場に飽和感が出てきているので、受注量回復のきっかけとなるものがない。	
	不動産業(経営者)	・相変わらず、住居・土地・建物の低迷が続いており、市内中心部の事業用地の取引も激減している。また、土地の価格も低下している。	
	公認会計士	・各業界の代表者との会話では、設備投資には消極的な見方が多く、売掛金の回収に不安を持っている経営者が増えている。	
	悪くなる	建設業(総務担当)	・老舗企業の倒産により、信用不安のうわさが流れており、将来に対して悲観的な見方が多くなっている。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社 (編集者)	・5月に新求人媒体を創刊するが、当社はその推進に携わるので、今後良くなっていく。
		学校〔大学〕(就職担当)	・年度替りを控えて、求人依頼は活発になっており、採用内定がこれから徐々に伸びる。
	変わらない	新聞社〔求人広告〕 (担当者)	・県主催のイベントがあるので、よさこい祭りとおわせ観光面で期待できる。
		職業安定所(職員)	・求人企業からは、原油高や原材料高の影響により、厳しいという声が多数聞かれ、今後も景気は悪いまま変わらない。
		職業安定所(職員)	・求人の増加について、明確な要因がなく継続するかどうか不明である。
	やや悪くなる	人材派遣会社(支店長)	・求人、求職ともに前年割れの状況が続いている。
		人材派遣会社(支店長)	・派遣登録希望者(=求職者)数が増えている。
職業安定所(職員)		・新規求人申込件数は、前年同月比で減少し、新規求職者数は増加した。	
民間職業紹介機関(所長)		・原油高、日常生活品の高騰により買い控え、様子うかがいが増えており、今後多方面に影響が出る。	
	悪くなる	-	-